

かすみそう Kasumi sou



令和5年11月2日
第2学年便り第25号
江戸川区立
松江第五中学校

この学年通信の名前は1組のIさんが考えてくれた「kasumi sou」と名付けました。カスミソウの花言葉は夢心地。小さい花で、1輪でも20輪でも100輪でも、時には他の花を輝かせる事もできる美しい花。白色は清らかな心。ピンクは感激。黄色は希望、明るい、元気。この学年が夢のように心地よく、また、個人でも、学年全体でも活躍し、輝けるような学年になるような名前に・・・という思いが込められています。



来週の予定



放射冷却で朝はめっきり寒くなった。
明けの明星（金星）や冬の大きな三角形が
澄んだ空気の中で浮かび上がる季節！

日	曜	学校行事等	持ち物・提出物
6	月	50分授業×6 ①学活（チャレドリ概要説明・体験場所発表）	白衣
7	火	50分授業×6	
8	水	45分授業×4 区中研一斉研究日（領域） ※部活動→再登校	
9	木	50分授業×6 江戸川区芸能祭学芸会 牛乳パック回収	
10	金	50分授業×6 江戸川区芸能祭学芸会 避難訓練 ⑥総合（チャレドリ関係）	白衣持ち帰り

※ 来週からは年明けに行われる、チャレンジ・ザ・ドリーム（職業体験）の取り組みが始まります。自分がどの職種の事業所に派遣されるのか！！きっとドキドキしている人もいます。どの事業所になったとしても、君たちへの期待度は高いはず。マナーを守り、学びの多い5日間になるように、今からしっかり準備を進めていこう。

※ 今週は4組が学級閉鎖、他クラスもインフルエンザ症状で欠席している生徒が少なからずいます。中には朝の段階で熱があったのに薬を飲んで登校しているなんて人も……。早退者も多くいます。体調が悪かったら学校は休んで受診するように、ご家庭でもご注意ください。

文化祭を終えて



先週の28日に文化祭が開かれました。26日から学級閉鎖になった1組は、当日に人数が揃わないこと、収束に向かっていないことなどがあって歌う事は叶いませんでした。1組に限らず、論文発表が出来なかったり、演劇部の舞台発表は急遽の代役を立てての発表など、残念ながらインフルエンザの影響が色濃く出てしまいました。きっと本人たちが一番悔しい思いをしていることと思います。その前にあった学年閉鎖の影響もあり、決して準備万端とはいかない合唱コンクールでしたが、それでも最優秀賞を勝ち取った3組をはじめ、4組も2組も「1組の分までしっかり歌おう」という気概を感じる発表だったと思います。弁論発表が出来なかった富田さんは全校朝礼で、合唱が出来なかった1組の合唱はどこかで時間をとって（学年集会など）お披露目できたらと思います。演劇部のみんなも江戸川区芸能祭学芸会にて発表ができるはず。みんなその時には、今回果たせなかった精一杯の姿を見せてもらいたい。いつか書いたけれど、努力は全て報われるわけではありません。今回、文化祭に参加できなかった人たちの努力が足りなかったわけでもありません。努力を重ねても実は叶わない事のほうが多いかもしれません。それでも、努力を続けている人は、必ずや人としての成長が見込めるものです。その頑張りや、別の場所で生きたり、人としての成長がその人を強くしてくれるものです。結果だけにとらわれず、自分の取り組みに誇りとプライドを持ってもらえたらと思います。そして、学年を超えた全校行事の中で、下級生を引っ張ってくれた3年生の姿を忘れないでください。学年合唱の校歌は、コロナ禍になってからここ数年間で、最も心を揺さぶられる校歌でした。最後まで歌ってくれないかなと思ったくらいです。松村先生のお話にもありましたが、学校の伝統は君たち生徒自身が継承していくものです。君たちが最高学年となったときに、同じように素晴らしい文化祭を終えられるように頑張ろう。

裏面に続く

「ミライシード」活用強化月間（11月）

みんなのiPadの中にあるミライシード（ドリルパーク）を知っていますか？もうかなり進んでいるという人も、「なにそれ？」って人も残念ながらいると思います。これは、B提供の学習用アプリです。ちょっとした合間でも学習することが出来ます。期末考査を控え、学習計画表も作成したところです。校長先生プレゼンツの「たちはなマインド証のグレードアップ大作戦」も開催されています。学習の合間に気分転換で取り組むのもよし、放課後補習教室で取り組むのもよし、本格的な学習に入る前の準備代わりに取り組んでもよし。一人一人がそれぞれの取り組み方で進めてみてはどうでしょう。机に向かってノートを開く気になれない…、そんな時でも、これなら頑張れるかもですよ。たちはなマインド証のグレードアップも狙ってやってみるのも悪くないかも(‘ω’)ノ

受験生チャレンジ支援貸付事業について

先日、お配りしたカラー刷り両面印刷のお手紙はご覧頂けましたでしょうか。東京都社会福祉協議会からのお知らせです。これは、東京都内の中学3年生・高校3年生又はこれに準じる人を対象に、学習塾、各種受験対策講座、通信講座等の受講料、および高校や大学等の受験料の捻出が困難な一定所得以下の世帯へ、必要な資金の貸付を無利子で行っているものです。高校・大学等に入学した場合、返済が免除されます。（入学以外の場合でも、受験に向けた取り組み状況の確認を行い、審査により免除される場合もあります。例年、利用した方の99%が返済免除となっています。）将来の自立に向けて意欲的に取り組む子供たちが、高校や大学等の進学を目指し、受験に挑戦することを支援する事業です。この事業に応募するには、東京都内在住1年以上や、所得要件等、いくつかの要件がありますが、この機会に確認してみてはいかがでしょうか。受験はまだ先ですが、塾や講座の補助は今からでも活用できるかもしれません。

学年主任のつぶやき

最近太った。原因はわかっている。運動不足と暴食だ。最近は自炊を殆どしていないので、学校の帰り道は梅島の中華屋さんで日替わり定食。休日の部活帰りはかつやで豚汁定食がルーティーンになっている。食にこだわりがないから、飽きもしないし、何より楽だからそんな日々が続いている。梅島からの帰り道は20分ほど自転車を漕ぐ。血糖値は緩やかに上がると思うから健康には良いのだろうけれど、何故か途中で甘いものを食べたくなくて寄り道をしてしまう。そして、時にこの寄り道がデザートとは言えないほどの量になってしまうことがある。寝るときにはお腹がパンパンなんてことも…。それでなくとも、最近はインフルエンザで欠席が多い給食を腹いっぱい食べているから、夏頃に比べると3割ほど増加しているようだ。毎年のことながら、秋になると体重が増える。まるで冬眠前の熊のようだ。そういえば、今年は熊による人への被害が過去最高のペースとのこと。熊の生息する地域に餌が不足していることで、人里へ餌を求めて熊がやってくるという事らしい。関係性は認められていないものの、今年の猛暑の影響かドングリ（ブナ科の果実）が不作なのだ。熊はドングリが好物なのだが、ドングリは数年に一度のタイミングで不作になるといわれている。この為、山の中で餌にありつけない熊が食べ物求めて人里に出てきてしまうらしい。もともと熊は臆病な動物と言われているから、鈴や音が出るものを身に付けて人の存在を知らしめてあげれば、向こうから離れてくれるとのことだけど、流石に街中で鈴を鳴らしているのはわかるものだろう。昔は動物たちの生息地と人里の境に生えている草木を刈る（下草刈り）ことで、動物と人の境を作っていたと聞く。今は人手も少なく下草刈りをする人もおらず、境界線がわからなくなっているのも原因の一つかもしれない。匂いの強いゴミは熊やイノシシをおびき寄せる格好の理由になってしまう。カラスにさえゴミを荒らされる東京でも、流石に都会に熊が出没したというニュースは聞かないものの、山間部に近い市部の人たちは、我々とは違う考え方で対応されているのだろうか。体は小さいが凶暴なアライグマを見かけるくらいのうちに、都会でも何か対策が必要なのかもしれない。（なんだか、新聞の社説みたいになってしまった…）